



華やかに進化するおひなさま



古代雛 17人揃え

江戸時代より受け継がれてきた270年の歴史をもつ真多呂(またろ)人形の最大サイズ品。三人官女や七楽人など、総勢17体の3段揃えは大迫力ですがお値段も大迫力の3,456,000円となっています。



バレンタインが過ぎたら、もう街中「ひな祭り」一色ですね。女の子がいるお家では、ひな人形を並べていることでしょう。おばあちゃんやお母さんの代から代々受け継がれてきたお人形があるお家もあれば、新しく買い揃えたお家もあるかと思います。そこで今回は、高級なものから、一風変わったものまで、最新のひな人形事情をご紹介していきたいと思います。



春色のころ

伝統の節句人形に新しい風を取り入れてきた、工芸士後藤由香子さんの作品。女雛も男雛も、桜色の綺麗な衣装を着ています。また、随所にスワロフスキーのアクセサリーが使われているのも特徴です。

雛人形親王飾り

スペインの伝統的磁器ブランドのリヤドロから発売されている磁器人形。淡い色合いが春の雰囲気を表現している作品です。磁器製のため、お手入れが簡単な上、省スペースな点も人気です。



Gothic

上でも紹介した後藤人形の作品。常識にとらわれない、黒を基調としたゴスロリ衣装は、とてもカッコいい仕上がりになっています。また、装飾品の一部はアクセサリーとして身につけることも可能です。

プリンセス雛人形

群馬の老舗人形店、晃月（こうげつ）人形の作品。人形の目の位置が顔の半分より下にあり、日本人離れた顔立ちになっています。また、なんと言っても一番の特徴は「つけまつげ」ができることです。

ひなのプリンセス

銀座雛人形の人気作品。日本の和装職人の父とフランスのデザイナーの母の間に産まれた、ハーフのひな人形です。ピンクのアイシャドーなど、メイクもバッチリで、3/3を過ぎても飾っておきたい作品です。

(※下記リンク先は外部サイトを含みます。よろしければ、クリックしてお進みください。)

(※作成日：2017年2月21日)

他にも気になる情報がいっぱい！ [Dr.関塾 佐須街道校](#)